



みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第35号 平成19年3月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



山県北野地域 三輪中学校の活動とりまとめ&市長報告

- ・1年間の活動をとりまとめて（1月26日）
- ・明日の岐阜を見つめて 岐阜市長への報告（2月26日）
- ・里山整備活動は受け継がれていく（3月1日）

○1年間の活動をとりまとめて

1月26日に、三輪中学校3年生が、1年間取り組んできた里山や河川に関する学習についてとりまとめを行いました。生徒各々が自分たちの学習してきたことや、そこから考えたことをレポートとしてまとめ、生徒同士で意見交換を行いました。

生徒たちは1年間の自然環境活動を、本当に様々に捉えていました。

- ・三輪は豊かな森があると思っていたが、手入れをしないと、住めなくなる生物がいることに気づいた。
- ・石田川は、岐阜市の中でも本当に貴重な川であることがわかった。その川を守るためには、住民の生活と川との関わりを考える必要がある。
- ・山と川が繋がっていることを実感した。山や川を守るためには、三輪全体を守っていかないといけない。

また、これらの意見を「地域の皆さんにも知らせなければいけない！」という意見も出されました。

このような生徒の思いを地域に伝えることが三輪の自然を守るための大きな力になっていくことでしょう。



○明日の岐阜を見つめて

岐阜市長への報告

2月26日（月）に3年生の代表6名が細江市長を訪問して、『三輪の自然環境をどのようにしたら守れるのか』自分たちの考えを力強く報告しました。

三輪の自然を未来に伝えていきたい！！ その思いは、市長にも届いたことでしょう。

また、生徒から報告された石田川下流の水質については早速、岐阜市で現地調査を行うなどの対応がされました。

○里山整備活動は受け継がれていく

暖かさを感じるようになった3月1日、2年生が里山整備活動を実施し、来年度に活用する薪に使う樹木の切り出しを行いました。

初めて木を切る生徒もいではじめは大変でしたが、指導を受けながら実践するうちに、徐々に伐採が上手くなっていきました。3年生を中心に実施してきた里山整備活動は、こうして後輩に受け継がれていこうとしています。その繋がりこそ、三輪の自然を守る大きな力のひとつとなることでしょう。

○おわりに

今年、1年間を見るだけでも三輪中学校の生徒はたくましくなっていました。これまでの活動を通して感じた三輪の自然の豊かさや地元への愛着を、地域づくりに反映させていってもらうことを願うばかりです。



自分たちが伐り出して使っている薪を披露しながら報告しました。



三輪の自然から感じたことや、そこから考えたこと、三輪の自然を守るために、みんなががんばることの重要性を細江市長に伝えてきました。



自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html